

令和2年度第3回逗子市食育推進懇話会【書面開催】回答

1 令和2年度重点目標に対する普及啓発（国保健康課）について

(1)実施したボリューム（量）はいかがですか。

- 十分実施できたと思う (1名)
- 概ね実施できたと思う (6名)
- あまり実施できなかったと思う (4名)
- 全く実施できなかったと思う (0名)

○メンバーからの意見

- ・コロナ渦において前半期においての啓発活動の実施ができていない様に思われる。令和2年度はコロナ感染症の影響があったのでしかたのない事だと思う。
- ・コロナ渦にあって、致しかたないと思います。
- ・啓発活動としては、様々な機会を用意し実施している。コロナ渦の中、体験的なイベントに制限がかかり十分でなかった点は仕方がない考える。
- ・コロナ渦での活動ありがとうございます。本年は実活動（料理体験等）が出来なかったことが残念です。
- ・ライフステージに合わせて実施できている。

(2)実施した内容はいかがですか。

- 十分充実していたと思う (0名)
- 概ね充実していたと思う (9名)
- あまり充実していなかったと思う (1名)
- 全く充実していなかったと思う (0名)

○メンバーからの意見

- ・上記理由により内容も例年にくらべ足りなかったと思う。
- ・多岐にわたり、様々な機会を捉え実地されていると思います。
- ・資料配布、ホームページへの掲載については一方的な部分が多い。フォローが必要ではないかと思う。

2 令和3年度の重点目標はどれがよいですか。

- 「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を、ほぼ毎日1日2回以上喫食している市民の増加」 (10名)
- 他の項目がよい (0名)

3 貴団体・貴所属において、令和2年度に「食に関連する活動・事業（※）」を実施しましたか。（複数回答可）

- 予定していたものがなく、実施もしなかった。 (1名)
- 予定通り実施した。 (1名)
- 予定していたものがあつたが、実施しなかった。 (5名)
- 予定していたものに何らかの変更を加えて実施した。 (3名)
- 予定していなかったが実施した。 (0名)

○ 予定通り実施した内容

- ・ 当組合の事業において農業に関する項目すべて

○ 予定していたものがあつたが実施しなかった場合の内容や理由

- ・ 市からの委託事業の一部。保健センター調理室使用不可のため。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため。
- ・ カレーパーティー、もちつき、クッキーづくり、コロナ対応のため全て中止しました。

○ 予定していたものがあつたが実施しなかった場合の内容や理由

- ・ 中学校給食を喫食する新1年制対象の食育授業（講師：学校教育課栄養士）が新型コロナウイルスによる休校のため実施できなかった。
- ・ 子ども食堂は昨年2月より未実施。（久木）自治協議会主催の朝市でスタッフ用に昼食を用意した。
- ・ 「葉桜食育クッキング」を毎月1回、12年実施して来ましたが新型コロナウイルスの影響で会場の閉鎖のため実施することができませんでした。

○ 予定していたものに変更を加えた場合の内容や理由

- ・ 懇談会等が開催できなかったため乳児～幼児の給食中や行事食の様子を写真付きの手紙にて1年に3回ほど発行した。
- ・ 講師を招いて講話+調理実習だったが、講話のみの座学として実施。
- ・ 県食会連の委託事業においてレシピ配布と施策料理のみとして実施。

4 貴団体・貴所属において、令和3年度に実施予定の「食に関連する活動・事業」はありますか。

ある (7名)

ない (4名)

○あると回答した場合の内容

・逗子市委託事業(男性の健康料理教室、ヘルスマイト養成講座、離乳食教室の調理手伝い)
県食会連、日食協の委託事業、調理実習をともなう定例会(会場使用可となれば)

- ・中学校給食に係る「食育授業」
- ・栄養教諭による食育の授業
- ・カレーパーティー、もちつき、クッキーづくり
- ・夏休みに野外での子ども食堂を計画中
- ・経済事業(農業に関すること)
- ・検討中

5 令和3年度実施案について

(1)新規の取組みで検討している「乳幼児への啓発」、「高校生への啓発」、「レシピコンテストの開催」について

○メンバーからの意見

・市側からの啓発活動で小学校、中学校との連携は割ととりやすい様に思われますが、高校生、高校との連携となると、なかなか難しいのでしょうか?逗子市にも公立、私立の高校もあるので市在住者だけでなく在学生においても実施できるようになると良いと思います。

・良い取り組みだと思います。

・単身生活大学生や社会人の食生活の実態を見ると、義務教育期間や高校生時代の食育がとても重要だと感じる。市の食育推進と学校との接点ができると思う。

・高校生への啓発:バランスのとれた食事とはどういうものか、極端なダイエットの危険性。

・重点目標(主食、主菜、副菜~)のサポート項目として「栄養成分表示」を組み合わせた取り組みがあってもよいのではないのでしょうか。栄養バランスと表示を活用した食品選択が繋がった行動に結びつく食育の推進ができるように考えています。消費者庁が作成している消費者向け媒体も幅広いシーンを対象に作成されているので上手に活用できると思います。

・コロナ渦の中ではまだまだ難しい所があるかと思いますが、子供達には楽しんで「食」という物に興味を持ってもらいたい。やはり調理などは有効な手段になりうると思う。

・乳幼児への啓発:子育て支援課と協力し、乳幼児健診や各種支援と合わせて、食のことをテーマとして啓発する。

・乳幼児への啓発：離乳食で食べたものは大きくなっても食べられる（好き嫌いは離乳食で決まる）と教わったことがあります。栄養バランスを考えていろいろなものが食べられるようにしてほしいです。

(2)その他全体を通してご意見等がありましたら記載してください。（自由記載）

・食育はもっと身近な物として捉えてもらえるように、教育や医療、地域活動などに積極的に取り入れるようにしたら良いと思う。そのための環境作りが行政には求められているように思う。

・コロナ渦にあって、取り組みがむずかしかったと思います、ご努力に感謝致します。

・（重点項目について）糖質制限ダイエット流行の中、米食の重要性も発信してほしい。亜鉛不足が生じる等。

・食と健康が直結していることを、身をもって体験できるイベント・・・やはり実際に健康によいものを食べる（できれば調理も）という機会が必要なのだと思う。

以上